福井県衛生環境研究センター活動報告　概要

講演名	令和４年度　衛生環境研究センター 環境研修会 ①　「不確実な廃棄物最終処分場にＤＸで挑む 　　－理論計算と実測データの相互補完でより正確な将来を予測－」 ②　「管理型最終処分場における塩類溶出メカニズムの考察」
講師 （発表者）	①　国立研究開発法人国立環境研究所 　　主任研究員　石森 洋行　氏 ②　環境部 水質環境研究グループ　主任研究員　田中 宏和
会場	会場およびオンライン（Microsoft Teams）のハイブリッドで開催
参加者	合計５１名 　センター職員参加者３０名（会場参加１６名、オンライン参加１４名） 　センター外オンライン参加者２１名１１所属
開催日時	令和５年３月３日（金）　１３：３０　～　１６：００
研修内容	職員の技術の向上と意欲高揚を図るため、当センター職員および関係機関職員等を対象に、環境研修会を開催しました。 　今年度は、国立研究開発法人国立環境研究所主任研究員　石森洋行氏に「不確実な廃棄物最終処分場にＤＸで挑む －理論計算と実測データの相互補完でより正確な将来を予測－」という演題で、ご講演頂きました。また、当センターの田中主任研究員から「管理型最終処分場における塩類溶出メカニズムの考察」について、研究報告を行いました。 石森先生ご講演 センター職員報告